

# みつくら

令和 6年 8月15日 第416号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

## 花菖蒲を愛でて野点の会

葛丸の農村環境を守る会(板垣幸夫会長、構成員390名)主催の「野点の会」は、6月30日に33名が参加して大瀬川自生花菖蒲園で開かれた。会場の花菖蒲園にテントを張り、真っ赤な野点傘を立て、赤い毛氈を敷いた茶席で季節の菓子とお茶を味わった。この茶席は高橋宗綾(あや子)さんが席主を務め、板垣福子さん、菅原房子さん、菅原和子さん、高橋厚子さん、菅原文子さんの6人でもてなした。

板垣幸夫会長は「今年の野点の会に、このように多くの方々がお出でになり、私達管理をする者としても大きな励みになります」と挨拶した。来賓の上野剛花巻市教育委員会文化財課長は「初めて大瀬川の花菖蒲を見ました。この野生の花菖蒲がこんなに多く咲いているのは市内にも無いでしょう」と祝辞を述べ、同じく来賓の熊谷秀夫大瀬川活性化会議会長は「毎年招かれています、今年もこのようにたくさんの花が咲いていて、去年より多いのではと感じられました」と祝辞を述べた。

葛丸の農村環境を守る会では、春の雪解け後の枯れた茅株刈りと、野点の会の数日前の2回に草刈を行い、花菖蒲園の保全に努めている。

## 自生花菖蒲園に学者3名が来訪

去る7月27日、尾平に自生している「大瀬川自生花菖蒲園」に「ノハナショウブ・ネットワーク」の学者3名が来訪した。この団体は、昨年の2月に「ノハナショウブを中心に、日本のアヤメ属植物の地域個体群の保全活動を進め、そのための生態学的、文化的な事項について情報共有を行う」学術団体で、21名の学者で組織している。

大瀬川を訪れたのは、この団体代表の原慶太郎博士(東京農業大学が運営する東京情報大学名誉教授)と副代表の加藤紀夫博士(東京都立大学客員教授)、竹原明秀博士(岩手大学教授)の三人で、この自生花菖蒲園を管理している葛丸の農村環境を守る会の菅原純一会計と菅原得之事務局が対応した。

ノハナショウブ・ネットワークの令和4年度の研究では「花巻市のノハナショウブ」として、国指定の天然記念物である花輪堤(宮野目)と大瀬川の花菖蒲園を訪れていた。「ノハナショウブ」とは聞き慣れなかったので何の何か尋ねたところ「野花菖蒲」のことで、古来から自然に生えている野生の花菖蒲のことだという。

3人の学者は口々に「東北地方を調査で回っているが、ここほど規模の大きい野花菖蒲は見たことがない」と話し、原教授から「国の天然記念物に推薦したい」との言葉に「指定されると、いろんな規制がなされて、自由な管理ができなくなるので」と丁寧に辞退した。

## 身近な環境を守ることの大切さを学習

7月21日に大瀬川構造改善センターで、葛丸の農村環境を守る会(板垣幸夫会長)と大瀬川地区子供育成会(板垣勇司会長)、石鳥谷小学校PTA稲豊会(阿邊奈々会長)が合同で、親子環境学習会を開催した。この日も30度を超える暑さであったが、親子37組42名、役員23名が参加し、会場は準備した椅子が足りなくなる程であった。

板垣幸夫会長が「今年も皆さんと一緒にこの地区の環境について学ぶ機会に沢山の参加を頂きありがとうございます。是非この学習を生かして、水場の生物の大切さを学んでください」と挨拶した。次に板垣勇司会長は「貴重な環境についての学習の機会を設けて頂きありがとうございます。学校ではなかなか学習できないことなので良く勉強します」と挨拶した。

学習会では「山と川の生き物しらべ」と題して県の環境アドバイザーで西和賀町出身の佐井守先生の講和を聞いた。先生はいろんな水生生物について話され、昆虫の標本も沢山持参しており、親子は先生を囲んで様々な質問をしていた。その中には岩手県で2頭しか発見されていない昆虫があり、子供たちは標本に目を見張っていた。もう1頭は県立博物館に寄贈したそうだった。佐井先生は仕事柄、川の水質には非常に詳しくて葛丸川も調査しており、この地区の葛丸川は清流度がAで川遊びにも適しているとのことだった。講話の後は場所を移動して柳原美智子さん脇の北寺上堰水路にイワナを放流した。

最後は、役員の女性たちが前日から準備していたカレーライス調理し、食育ふれあい昼食会を行って閉会した。

## 子供育成会が花壇の草取り

大瀬川地区子供育成会(板垣勇司会長、会員12戸児童20名)が、7月21日の早朝に父兄や児童など34名が大瀬川運動公園にある3つの花壇の除草作業に汗を流した。

「みつくら」では、このような各団体の活動をこまめに掲載したいと思っているので、情報をお寄せ下されば有り難い。

## 表彰

市老連石鳥谷支部ゲートボール大会  
 準優勝 大瀬川第一老人クラブ

## 八区自治公民館役員が花壇の草取り

7月21日に八区自治公民館(熊谷秀夫館長)は大瀬川運動公園南側の花壇に2年ぶりに花を植えたが、花よりスギナが元気でマルチの穴から伸びたため、役員6名で草取りをした。花植え前の花壇作りの時も苦労したが、やはり石が多い。見ただけでもそこら中に石がゴロゴロしている。永年の花壇の利用を考えると土壌改良の必要があると感じられる。

## 公葬地の利用者は201人

大瀬川公葬地管理運営委員会(熊谷秀夫委員長、委員15名)の第2回運営委員会は、7月23日に大瀬川振興センターで開かれ、管理費の集金名などを協議した。

管理資料によると、現在の利用者は201名で、内訳は7区が49名、8区が67名、9区が51名、大瀬川以外が34名であった。

8月3日には役員13名が公葬地の草刈や合籠屋(がんごや)内の備品整理を行った。これはお盆を前に運営委員会が毎年行っているもので、入り口の道路を始め、慰霊碑周辺や公葬地周辺の草刈や掃き掃除を実施した。また合籠屋には葬列に使われる灯籠など一式が納められていて、年に一度の確認も合わせて中を整理した。

作業終了後に熊谷秀夫委員長が「おかげさまで公葬地の周辺が綺麗になり、お盆を迎える準備ができました。ありがとうございました」と挨拶した。

## 人事

山祇神社

筆頭責任役員 畠山勝榮(再)

例大祭齋行責任役員 菅原黎治(再)

祭儀責任役員 藤原利博(再)

総代長 菅原淳夫(新)

副総代長 畠山義弘(新) 藤原美宏(新)

山王海土地改良区総代

7区 菅原康之(新)

8区 板垣光喜(再) 板垣博文(新)

9区 熊谷俊彦(新)

花巻市農業委員 板垣淑子(再)

## 7区が運動公園の環境整備作業

お盆を迎える時期となり、8月3日午前6時より第2回の環境整備作業(大瀬川運動公園及び盛岡和賀線チェーン脱着所)を第7区民30名が参加して行った。

区長が手配した4台の軽トラックで刈り取った草を片付けて1時間30分で終了した。

大瀬川運動公園では8月11日に大瀬川夏まつりが予定されている。整備された運動公園で、老若男女たくさんの方が参加し、楽しい盆踊りの輪が大きく広がってくれること、そして好天を願っている。

# みつくら

令和 6年 8月15日 第416号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

## 第9回功労賞を板垣寛さんが受賞

花巻市では、7月31日に第34回宮沢賢治賞・イーハトーブ賞を発表した。この中でイーハトーブセンターが独自に選考している第9回功労賞を板垣寛さんが受賞した。受賞理由は、「父の代に賢治から直接受けた農業指導を受け継ぎ、賢治の教えを現代に生かす農業実践を続けるとともに、賢治の顕彰活動に長年取り組んでいる」ことが認められたもの。現在は、石鳥谷賢治の会の顧問でもある。贈呈式は9月22日なはんプラザで行われる。

## 懐かしの歌謡曲で体操

7月23日にあじさいの会(板垣福子会長)では、花巻市役所の長寿福祉課から2名の講師を招いて「いきいき講座」を開催し12名が参加した。講師は、カラオケの本体とスピーカーを2個持ち込んでディスプレイに繋ぎ大きな画面に映像を映した。理学療法士の高橋さんがひととおりのことをするか説明後、カラオケの要領で参加者が画面を見て歌いながら、同時に体をゆっくり動かして普段は動かさない所をマッサージした。マッサージすると非常に気持ちがよかった。2曲を歌いながら体操をしたのち、次は頭の体操に移った。画面には「さかなへん」が付く漢字が映り、皆で答えを考えると10秒後に正解が出たがかなりの確率で正解した。水分を補給して後半も2曲を歌いながら体操をした。因みに歌った歌謡曲は舟木一夫や都はるみの歌だった。

## 東京からも参加者を迎えて第13回賢治やまなし祭

石鳥谷賢治の会(松村稔会長)では、8月4日に大瀬川第11地割にある宮澤賢治やまなし園で第13回やまなし祭を開催し40名が参加した。午前から30度近くの気温の為、来賓や役員にはテントを準備し、参加者の多くは園のやまなしの木陰に陣取った。能登谷副会長の開会のあと、松村稔会長が「皆さん、猛暑の中このやまなし園に足を運んでいただき大変ありがとうございます。大瀬川は賢治に関わるところがたくさんあり、こども賢治先生の感性を体験できる場所です。今日は大いに楽

しんでください」と挨拶した。続いて、共催している東京シュタイナー学校の竹内明美さんが「2011年に共同で植えたやまなしの木がこんなに大きく成長している様子を見ると非常に感慨深いです。今回は17組の親子が来ています。今後も交流を大切にしていきたいと思います」と挨拶した。次に来賓の花巻市賢治まちづくり課長の鈴木さんから「石鳥谷賢治の会は市内でも非常にユニークな活動しています。お手伝いできることは何でもしますので今後も益々活躍ください」と祝辞を述べた。続いて大瀬川活性化会議会長の熊谷秀夫会長より「13回を迎えるやまなし祭の直前に前会長の板垣寛さんが功労賞を受賞されたことは長年の活動への賜物だと思います。また、この地区は小規模ではありますが若者が企画して夏まつりを11日に行います。是非皆さんの応援で盛り上げてください」と祝辞を述べた。次に童話「やまなし」の朗読を石鳥谷小学校の5年生の板垣美月さんが感情を込めて朗読した。続いて、当会の監事である鎌田幸也さんが八幡の田んぼアートについて講和し、奥さんが下絵を構想しているので毎年の詳しい裏事情を聞くことができた。また今回初めての企画として、菅原得之さんの進行で、竹内さんと演劇部教師の高田豪さんと板垣寛さんがトークショーを行った。最後は、やまなし讃歌と精神歌を参加者全員で歌った。所感では、高橋久さんが賢治の望んだ風景で開催したこの企画は大変良かったと話して閉会とした。

## 7区自主防災会で点検と訓練を実施

8月3日に7区自主防災会(菅原敏幸会長)では、午後4時より防災倉庫備品点検と炊き出し訓練を実施した。また、今年度の予算で購入した担架のお披露目をした。点検した発電機は『ふれあい広場に集まろう』の事業時に発動し投光器が広場を照らしていた。

## 7区公民館が賑わう♪

去る8月3日、7区自治公民館にて午後6時より『ふれあい広場に集まろう』(子供から高齢者の集い)が参加者42名で開催された。7区自治公民館館長の菅原清孝さんが「5年ぶりの開催であり大いに賑わって頂きたい」と挨拶の後、7区区長の菅原敏幸さんの乾杯で始まった。一の滝同志会の方々と役員等が肉、ウインナー、焼きそば等を焼きながらみなお腹いっぱい食べ、お楽しみ抽選会、花火大会を行った。初参加の西館さん親子4人は抽選会の景品に満足していた。参加した子供たちは、久しぶりに楽しい夏の思い出になったことだろう。

## 大瀬川チーム準備勝

8月4日ふれあい運動公園で、石鳥谷町体育協会主催の第30回石鳥谷ソフトボール大会が、女性1名以上の参加・出場選手の合計年齢が350歳以上等のルールのもと6チーム参加で開催された。大瀬川チームは初戦、19区自治会と対戦し14対3で勝利し、2戦目は上好地公民館と対戦し6対4で勝利した。決勝戦は中組と対戦したが、暑さと二日酔いと故障者があり、1対10で敗れ準優勝となった。残念ながら連覇はかなわ

なかったが皆さんご苦勞様でした。参加者(見学者含む)は菅原幸福(監督)、熊谷俊哉・裕美子、菅原邦典、佐藤学・由幸・伸幸、菅原茂、板垣雄一・淑子・春介・圭介、板垣伸吾・熊谷利津子

## 訃報

○川原家の板垣紹栄さんは、6月23日に78歳で亡くなりました。板垣さんで思い出すのは、自転車北海道旅行したことです。成人式の年、昭和41年花巻北高の同級生(北上市)と二人で10日間にわたって函館周辺を旅行したとのことでした。自転車にテントと寝袋を積んで、青森に着くまで2日を要し、青函連絡船に自転車を積んで北海道へ渡り、函館周辺を旅行してから再び自転車で帰って来たというのですから、その体力に感心しました。

板垣さんには他にもエピソードがあって、昭和63年に板垣光巳さんが人夫頭をしていて、一緒に盛岡市動物公園の猿山を建設した時のことです。板垣さんは完成したその猿山に登ったり、滑り落ちたりしてその感触を監督に伝えていました。現在、その動物公園は改修中とのことですが、猿山はどうなるのでしょうか。酒屋働きの傍ら、若い頃には大瀬川青年会副会長、中年時代には岩手中部農業共済組合総代、壮年時代には山王海土地改良区水利委員、晩年には大沢竹次郎顕彰会事務局長を担うなど地域に尽くされました板垣さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○上ノ台家の熊谷弘子さんは、7月19日に75歳で亡くなりました。熊谷さんは紫波町水分の出身で、20歳の時に上ノ台家に嫁がれました。熊谷さんは嫁がれた頃にはプラザミシンの販売店で事務員をしていましたが、27歳の時に義母が亡くなってからは農業に専念していました。ところが43歳の時にご主人の和元さんが亡くなられ、13年後には義父の仁之丞さんが亡くされました。

ご主人を亡くされてからは、長男の仁さんが農協に勤務しながらお二人で農業の規模拡大を図りました。しかし、その矢先の58歳の時にその仁さんも亡くなるという不運に見舞われました。以来、たった一人で農業を切り盛りしていただいただけに残念でなりません。この間に熊谷さんは地域で多くの役職を担われて皆さんから親しまれておりました。

熊谷さんで思い出すのは平成8年に、大竹町長の一行と共に参加した石鳥谷町・ラットランド市姉妹都市提携10周年記念式典の事です。式典が終わった翌日に飛行機で帰国中エンジンラブルが発生。エンジン爆発を抑えるため燃料を空中で飛びながら消費して、飛び立った空港まで戻って無事着陸したのです。その時に熊谷さん達は、代替航空機で2日遅れて日本に帰国したのです。

熊谷さんは、地域では十指に余る役職を担われて活躍されました。その中でも大瀬川公民館婦人部長、石鳥谷町厚生保護婦人会副会長、JA花巻燦々運動実践委員長、花巻市農業委員として活躍されました熊谷さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。